



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 吉野家ホールディングス

コード番号 9861 URL <http://www.yoshinoya-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安部 修仁

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 斎藤 公利

TEL 03-4332-9701

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	39,901	△0.5	304	△65.2	416	△53.5	△126	—
24年2月期第1四半期	40,098	△7.3	876	—	895	—	△490	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 △27百万円 (—%) 24年2月期第1四半期 △453百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	△246.00	—
24年2月期第1四半期	△984.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	96,570	45,016	45.1	84,756.00
24年2月期	94,371	45,584	46.7	85,835.00

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 43,560百万円 24年2月期 44,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	6.6	2,200	6.1	2,200	3.6	750	3.9	1,459.00
通期	170,000	2.5	5,500	14.6	5,500	3.5	1,900	45.0	3,697.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期1Q	662,405 株	24年2月期	662,405 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	148,459 株	24年2月期	148,459 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期1Q	513,946 株	24年2月期1Q	498,501 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、増税への政府指針などによる節約志向や消費者の外食を控える傾向が依然として強く、当社グループにとって厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、国内においては「充実」をキーワードに、グループ会社それぞれの強みをさらに伸ばし、当面の課題解決および新しいビジネスモデルの構築に邁進してまいります。また、海外では、中国でのブランド認知が進み、出店を加速する準備が整ったため、「成長」をキーワードとして、本格的な事業展開への取組みを開始いたします。

当期、吉野家ホールディングスでは、グループ商品本部はグループ各社がそれぞれに持つコンテンツや素材を活かしたメニュー開発、工場や物流の仕組みを変えていくための準備を進めております。一方、グループ開発本部は物件開発力や技術力を融合させ、コスト低減や業務効率向上を実現してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は、前年同四半期と比べ1億96百万円減少し、399億1百万円となりました。利益につきましては、原材料価格の上昇等の影響から連結営業利益3億4百万円、連結経常利益4億16百万円、連結四半期純損失は1億26百万円となりました。

連結売上高	399億1百万円	(前年同四半期連結売上高	400億98百万円)
連結営業利益	3億4百万円	(前年同四半期連結営業利益	8億76百万円)
連結経常利益	4億16百万円	(前年同四半期連結経常利益	8億95百万円)
連結四半期純損失	1億26百万円	(前年同四半期連結四半期純損失	4億90百万円)

セグメント概況につきましては、次のとおりであります。

《国内吉野家》

国内吉野家は、新しい「商品価値」「サービス価値」を創造し、この新しい価値を表現するビジネスモデルの構築に取り組んでおります。商品については、外食業界各社の値下げ競争の激化は続いておりますが、吉野家はお客様の期待に応えられるようなオリジナリティのある商品品質を磨き上げてまいります。サービスについては、店舗の内装、ドライブスルーの設置などお客様が利用しやすい環境整備を進めており、この次世代型店舗へ当期末までに100店舗以上の転換を計画しております。一方で、損益分岐点を引き下げ、店舗生産性の向上と「うまい」と「はやい」の実現を目指した収益モデル店舗の実験と検証も進めております。

販売施策では、昨年東日本地区における電力事情などで延期を余儀なくされた、春の全国一斉のディスカウントセール「春の牛丼祭」を実施、5月にはさらなる「こく」と「香り」を追求した「こく旨カレー」と「旨辛カレー」を発売いたしました。しかし消費者の外食を控える傾向が続いた結果、売上高は211億73百万円、セグメント利益は4億97百万円となりました。店舗数は、新たに7店舗を出店し、不振店等7店舗を閉鎖した結果、1,189店舗となりました。

国内吉野家売上高	211億73百万円	(前年同四半期 売上高	218億9百万円)
国内吉野家セグメント利益	4億97百万円	(前年同四半期 セグメント利益	11億57百万円)

《海外吉野家》

海外吉野家は、中国を中心とした出店が引き続き順調に推移したものの、円高の影響等もあり、売上高は24億44百万円、セグメント損失は90百万円となりました。

店舗数は、米国1店舗、中国大陸19店舗（上海3店舗、北京13店舗、遼寧1店舗、呼和浩特2店舗）、香港3店舗、台湾2店舗、インドネシア2店舗を開店いたしました。合計27店舗を出店し、不振店9店舗を閉鎖した結果、508店舗となりました。

海外吉野家売上高	24億44百万円（前年同四半期 売上高	25億65百万円）
海外吉野家セグメント損失	90百万円（前年同四半期 セグメント損失	37百万円）

《京樽》

京樽は、既存店の販売力の強化や、創作鮎等の開発を進めてまいりました。4月には、テイクアウトの新業態「KYOTARU DELI」をオープンし、顧客層拡大に向けた売上向上施策をスタートいたしました。

これらの結果、売上高は62億15百万円、セグメント利益は95百万円となりました。店舗数は、3店舗を出店し、不振店6店舗を閉鎖した結果、347店舗となりました。

京樽売上高	62億15百万円（前年同四半期 売上高	56億49百万円）
京樽セグメント利益	95百万円（前年同四半期 セグメント損失	2億38百万円）

《どん》

どんは、「フォルクス」業態において7店舗、また「どん亭」業態において2店舗で改装を実施し、さらにスクラップ&ビルドとして「どん亭」1店舗を新たに開店しております。これらの店舗では、お客様にとっての快適性や利便性と、料理の品質や従業員の生産性を追求するとともに、新しい価値作りのための新メニューを導入しております。

これらの結果、売上高52億14百万円、セグメント損失1百万円となりました。店舗数は、国内に1店舗を出店し、5月には台湾に「フォルクス 台北敦南店」を海外2号店としてフランチャイズにて開店いたしました。また、国内2店舗を閉鎖した結果、172店舗となりました。

どん売上高	52億14百万円（前年同四半期 売上高	50億96百万円）
どんセグメント損失	1百万円（前年同四半期 セグメント利益	1億32百万円）

《はなまる》

はなまるは、客数増加に向けた取組みとして、QSCの更なる向上と、魅力的な季節商品の導入を前期に引き続き行ってまいりました。この他に、夕食時間帯の客数増加に向けた店舗実験や、「健康」をキーワードとした商品の開発・検証なども進めてまいりました。

これらの結果、売上高39億8百万円、セグメント利益1億58百万円となりました。店舗数は、国内に7店舗を出店し、不振店2店舗を閉鎖した結果、317店舗となりました。

はなまる売上高	39億8百万円（前年同四半期 売上高	35億91百万円）
はなまるセグメント利益	1億58百万円（前年同四半期 セグメント利益	52百万円）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億99百万円増加し965億70百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ27億67百万円増加し515億54百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ5億67百万円減少し450億16百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少し45.1%となりました。

また、現金及び現金同等物の残高は、換算差額を加え176億56百万円（前連結会計年度末は170億62百万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期の業績予想につきましては、平成24年4月13日に公表いたしました業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,299	18,006
受取手形及び売掛金	3,227	3,360
商品及び製品	1,949	2,524
仕掛品	37	37
原材料及び貯蔵品	1,645	1,532
その他	2,652	3,305
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	26,805	28,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,131	25,422
その他（純額）	13,719	13,565
有形固定資産合計	38,851	38,987
無形固定資産		
のれん	214	199
その他	2,806	2,723
無形固定資産合計	3,020	2,922
投資その他の資産		
投資有価証券	877	958
差入保証金	15,581	15,542
繰延税金資産	1,117	1,000
その他	8,328	8,613
貸倒引当金	△212	△214
投資その他の資産合計	25,693	25,900
固定資産合計	67,565	67,810
資産合計	94,371	96,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,865	4,637
短期借入金	14,831	14,408
1年内返済予定の長期借入金	4,454	4,762
リース債務	873	858
未払法人税等	978	469
賞与引当金	1,480	2,239
役員賞与引当金	87	49
株主優待引当金	184	270
資産除去債務	14	11
その他	7,261	8,429
流動負債合計	34,032	36,138
固定負債		
長期借入金	7,972	8,558
リース債務	1,064	1,143
退職給付引当金	572	573
資産除去債務	2,300	2,297
その他	2,844	2,842
固定負債合計	14,754	15,416
負債合計	48,787	51,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,265	10,265
資本剰余金	11,139	11,139
利益剰余金	42,689	42,049
自己株式	△18,089	△18,089
株主資本合計	46,005	45,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11	△17
為替換算調整勘定	△1,879	△1,787
その他の包括利益累計額合計	△1,891	△1,804
少数株主持分	1,469	1,456
純資産合計	45,584	45,016
負債純資産合計	94,371	96,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	40,098	39,901
売上原価	13,531	13,873
売上総利益	26,566	26,028
販売費及び一般管理費	25,690	25,723
営業利益	876	304
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	1	0
貸貸収入	111	101
持分法による投資利益	8	97
雑収入	147	143
営業外収益合計	279	353
営業外費用		
支払利息	117	106
貸貸費用	64	83
雑損失	78	50
営業外費用合計	260	241
経常利益	895	416
特別利益		
評定済資産戻入益	8	—
貸倒引当金戻入額	27	—
特別利益合計	35	—
特別損失		
固定資産除却損	85	—
減損損失	4	164
契約解約損	—	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,165	—
災害による損失	85	—
その他	50	—
特別損失合計	1,391	171
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△460	244
法人税、住民税及び事業税	294	504
法人税等調整額	△262	△129
法人税等合計	32	375
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△492	△130
少数株主損失(△)	△2	△3
四半期純損失(△)	△490	△126

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△492	△130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△7
為替換算調整勘定	44	110
その他の包括利益合計	39	103
四半期包括利益	△453	△27
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△457	△40
少数株主に係る四半期包括利益	3	12

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	国内 吉野家	海外 吉野家	京樽	どん	はなまる	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	21,636	2,565	5,648	5,096	3,591	38,539	1,559	40,098	—	40,098
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	173	—	1	—	—	174	212	387	△387	—
計	21,809	2,565	5,649	5,096	3,591	38,713	1,771	40,485	△387	40,098
セグメント利益 又は損失 (△)	1,157	△37	△238	132	52	1,066	26	1,093	△216	876

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社5社を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△216百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△677百万円、セグメント間取引消去470百万円、及びのれんの償却額△10百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	国内 吉野家	海外 吉野家	京樽	どん	はなまる	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	20,729	2,444	6,213	5,208	3,908	38,504	1,397	39,901	—	39,901
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	443	—	1	5	—	451	132	583	△583	—
計	21,173	2,444	6,215	5,214	3,908	38,955	1,530	40,485	△583	39,901
セグメント利益 又は損失 (△)	497	△90	95	△1	158	659	△21	637	△333	304

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社5社を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△333百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円、セグメント間取引消去477百万円、及びのれんの償却額△12百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。